

6月定例議会の日程

月日	曜日	開会時間	会議名	会議室
6月 5日	火	午前10時	本会議（提案説明～質疑～委員会付託）	本会議場
6月 6日	水	午前10時	厚生委員会	第1委員会室
6月 7日	木	午前10時	建設企業委員会	第1委員会室
6月 8日	金	休会日	文教経済委員会	第1委員会室
6月 9日	土		休会日	
6月10日	日		休会日	
6月11日	月	午前10時	総務委員会	第1委員会室
6月12日	火	午前10時	本会議（一般質問）	本会議場
6月13日	水	午前10時	本会議（一般質問）	本会議場
6月14日	木	午前10時	本会議（一般質問）	本会議場
6月15日	金	午前10時	本会議（一般質問）	本会議場
6月16日	土		休会日	
6月17日	日		休会日	
6月18日	月	午前10時	本会議（一般質問）	本会議場
6月19日	火		休会日（議事整理）	-
6月20日	水		休会日（議事整理）	-
6月21日	木	午前10時	本会議（委員会付託案件の採決）	本会議場

本会議・委員会とも自由に傍聴できます。

並行在来線存続は地域住民の強い願いです

毘風の「廃止提案」についての見解を杉本敏宏議員団長に聞きました



あるんだろつか」とい
う声をお聞きしまし
た。「議会はいつたい
何考えてるんだ」とい
う声もあります。上
越市や議会がそう考
えているということ
ではありません。

【問】5月24日の毘風の「廃止提案」とは、どんな内容なのですか

【杉本】一言でいって、並行在来線はどうやって赤字なので、廃止してバスにしちゃえということとその後始末です。みんな「困難を乗り越えてどう存続を図るか」を考えているときに、「存続は困難だからやめちゃえ」というのは、究極の敗北主義だと思います。

ほくほく線の乗り入れなどは、わが党や他党派が以前から提起してきたことです。

【問】議会への提案なのですか。

【杉本】28日に毘風以外の会派で話し合ったときにもそのことが話題になりました。塚田俊幸新幹線・特別委員長と私とで聞きに行きました。「提案として議会で審議するのですか」というと、「資料として配布しただけです」ということでした。アドバルーンを揚げて様子を見ようということでしょうが、何とも無責任です。4人以上の議員（毘風は11人）で正式に議題として提案できるのですから。

【問】波紋が広がっているようですが・・・

【杉本】私も、「地域あげて並行在来線の存続運動をしているのに、何を考えているんですかね」とか、「この時期に提案するのは、何の目的があるんだろつか」とい

近隣市からも怒りの声

が出されていますが、当然だと思えます。喜んだのは、国と」

R、それに泉田知事でしょうか。



オドリコソウ(東本町5にて)

【問】いま大事なことは何でしょうか。

【杉本】並行在来線の経営困難は、国とJRが公共交通を維持する責任を放棄したことに原因があります。ですから国とJRに「責任を持って」迫ることが大事です。

もう一つは、県と市町村の間で「並行在来線の存続に県が責任を持つ」ことを確認して新幹線工事に着工したのですから、新潟県が責任を持って存続を図っていく義務があります。その義務を果たさせることです。

そのために、行政も議会も地域全体が、力を合わせる必要があります。

【問】日本共産党はこれからどんな活動をしていくのですか。

【杉本】私たちはこれまで、いろいろな団体と共同で研究会やシンポジウムを開いたりして、並行在来線がかかえる諸問題を明らかにしてきました。地域住民の足であり、国の交通網の重要な柱である鉄道をどうして行くのかを、今後とも多くの人たちとともに考え、活動していきたいと考えています。

【問】妙高市議会と上越市議会の特別委が意見交換をしましたね。

【杉本】はい。5月15日でした。上越市議会としては初めてのことでした。同じ地域に住むものとして、山地と平場というようにかかえる課題に若干の違いはありますが、並行在来線の問題で共通認識を持つていくことは重要です。その席でも発言したことで、上越市、妙高市、糸魚川市の三市と三市議会の連携が、今後ますます重要になっていくことでしょう。そこに水を差す毘風の行動は、たいへん問題ですね。

日本共産党上越市議員団ニュース

9 4	2 0 0 7 年 6 月 3 日
連絡先	杉本敏宏 5 2 4 - 3 7 8 7 (東本町5)
	樋口良子 5 4 4 - 6 8 0 2 (中門前3)
	橋爪法一 5 4 8 - 3 6 2 8 (吉川区代石)
事務局長	上野公悦 5 3 0 - 2 2 0 3 (頸城区中柳町)